

地域ブランドづくりに携わる皆さまへ！

地域団体商標活用セミナー

～先進事例から学ぶ！地域ブランドを活かして地域の価値を高める方法～

地域団体商標とは、「地名」と「商品・サービス名」から成る
地域ブランドを保護し、地域経済の活性化を図る制度です。

本セミナーでは、地域団体商標の先進事例から、地域の魅力や価値を高める活用方法をご紹介します。

権利取得を検討している団体や、権利取得後の活用に課題を感じている団体、商工会議所・
商工会、自治体等、地域ブランドづくりに携わる皆様のご参加をお待ちしております！

2026

9.14 (月)

14:00～16:00 (13:30受付開始)

参加
無料

会場 四国経済産業局 607会議室

開催方法 ハイブリット開催（現地+オンライン）

定員 現地：30名（オンライン上限なし）

お申し込み

右記の二次元コードより
お申し込みください。

<https://forms.cloud.microsoft/r/M2L8TKzegE>



申し込み期限

2026.9.13 (日) 17:00まで

プログラム

商標・地域団体商標制度の説明

事例紹介

テーマ：伝統と革新で織りなす、
未来への街づくり

講師：三宅 仁美 氏

（井原商工会議所 経営支援課 経営指導員）

テーマ：世界へ羽ばたく青森の黒にんにく

講師：古川 博志 氏

（協同組合青森県黒にんにく協会 事務局次長）

パネルディスカッション

支援機関×生産者それぞれの視点から学ぶ、
地域ブランド化とその活用とは？

質疑応答・交流会

講師



三宅 仁美 氏

井原商工会議所 経営支援課
経営指導員



古川 博志 氏

協同組合青森県黒にんにく協会
事務局次長

登壇者ご紹介

井原商工会議所 経営支援課
経営指導員

三宅 仁美 氏



井原デニム（イメージ）

岡山県井原市の伝統産業である繊維・デニム生地の付加価値向上と、産地ブランドの確立に向けた支援業務に従事。2019年に地域団体商標を取得した「井原デニム®」のブランド化事業において、地域の製織・染色・縫製業者など多様な事業者間のネットワーク構築や、行政と連携したプロモーション活動の実務を最前線で牽引する。世界のトップブランドから称賛される“高品質な井原の生地”という強みを活かし、一過性ではない「稼げる産地」づくりと地域団体商標の戦略的活用を推進している。

協同組合青森県黒にんにく協会
事務局次長

古川 博志 氏



黒にんにく（イメージ）

岩手県花巻市出身。弘前大学農学部卒業後、青森県中小企業団体中央会に入会。2006年、青森県産にんにくの歴史を変える高い機能性（抗がん作用等の研究）に着目し、地域資源の活用に向けた「BG（ブラックガーリック）計画」を立ち上げる。地元の生産者や加工業者と伴走し、「青森の黒にんにく」のブランド化や地域団体商標取得において中心的な役割を果たしてきた、知財・地域ブランドの仕掛け人。

会場案内

四国経済産業局 607会議室
（高松サポート合同庁舎北館6階）

〒760-8512

香川県高松市サポート3-33

アクセス

- JR高松駅から
北へ約200メートル 徒歩3分
- ことでん高松築港駅から
徒歩7分
- 高松港から
西へ約300メートル 徒歩3分
- 高松空港から
バス約40分 タクシー約30分



主催

四国経済産業局

委託事務局

株式会社パソナJOBHUB

問合せ先

株式会社パソナJOB HUBソーシャルイノベーション部（担当：田中・細野）

✉ mikitanak2@pasona-jobhub.co.jp

※本事業は四国経済産業局「令和8年度四国地域ブランド化促進及び地域団体商標ブランド力強化支援事業」（委託事務局：株式会社パソナJOB HUB）の一環で実施します。